



旭丘小だより

練馬区立旭丘小学校
学校だより 5月号
平成26年4月30日 発行
発行責任者：野田 豊

理想の共有

校長 野田 豊

青々とした新緑と赤や黄の色とりどりの花々が美しいコントラストを描き、一年で最も生命の息吹を感じる季節となりました。

今年度がスタートして一ヶ月がたち、本校の教育活動もようやく軌道に乗ってきた感じがしています。先日、登校してくる子供たちの様子を見守るために校門に立っていたら、たくさんの元気な「おはようございます！」の挨拶のシャワーを浴びました。また、別の日には、廊下を歩いていた私を見つけて10メートル以上も離れたところから「おはようございます！」と辺りに響き渡るような挨拶をしてくれた子供がいました。うれしくなった私は、近くに寄って行って「すばらしい挨拶ですね。グッドです！」と親指を立てて返しました。すると、周りにいた10数人の子供たちにも挨拶が伝染し、昇降口に「おはようございます！」がこだましました。

4月7日の始業式で、私は子供たちに「この1年、みなさんで笑顔あふれる学校を作りましょう。」と呼びかけました。そして、翌週の全校朝会で「笑顔あふれる学校にしていくためには気持ちのよい挨拶をすることが大切です。挨拶の音が響き渡る旭丘小にしましょう。」と話しました。その後、件の場面に遭遇したのです。子供たちが私の気持ちをしっかりと受け止め、行動に表してくれていることを大変うれしく思いました。実は、4月当初から保護者の方々や、教職員に対し、様々な機会を捉えてはどんな学校にしたいのかということを繰り返し話してきました。それを受け、学校では教職員が子供たちに挨拶の大切さを改めて理解させ、身に付けさせようと繰り返し指導してくれました。また、家庭や地域においても、それぞれの立場で挨拶の大切さをご指導くださっております。学校、家庭・地域がそれぞれの役割や責任を自覚し、子供たちのために力を発揮するとき、子供の健全育成が実を結んでいきます。その推進力となるものは、こんな子供に育てたい、こんな学校を作りたい、という「理想を共有すること」であると考えます。

今年度の目指す学校像は、

- 「わかった」「できた」喜びにあふれる学校
 - 仲良く助け合うやさしさあふれる学校
 - 失敗を恐れないうる気あふれる学校
 - 心も体も鍛え元気あふれる学校
 - 地域とともにある開かれた学校
- です。これらの理想を皆様と共有し、この一年、一丸となって進んでまいりたいと思います。



一年生を迎える会